

③暮らしの基盤が整ったまち、日常生活を快適に暮らせるまち など 9億3,217万円（土木費）

町道舗装修繕事業

交通量の多い主要町道のうち、舗装の老朽化が特に著しい10路線の修繕工事を繰越事業として実施します。

深原地区町有地造成事業

県道矢野安浦線トンネル工事で発生する残土を利用し、遊休町有地に有効面積約1.7haの流通系産業団地の造成を継続実施します。

子育て定住促進助成金交付事業

若年層の定住を促進し、地域の活性化を図るため、新築住宅または中古住宅を購入する支援措置として、「子育て定住促進助成金」を交付します。（詳細は6ページ）

下水整備事業

公共下水道事業では、新宮地区および平谷地区の一部（約4ha）の整備を実施します。

④子どもが健やかに、たくましく育つまち など 7億5,966万円（教育費）

基礎学力の向上


「学校支援員」や「生徒指導相談員」を配置し、学力向上対策や不登校などで個別支援が必要な生徒への対応を行います。また、新たに通常学級にも「配慮児童支援員」や「家庭教育支援アドバイザー」を配置し、学習支援体制の充実を図ります。

小学校・中学校耐震補強事業

耐震性評価の低い学校施設の耐震補強工事を、国の補正予算などで追加交付される交付金を活用し、繰越事業として実施します。
【対象】第一小学校：特別教室棟・体育館、第二小学校：普通教室棟・特別教室棟、第三小学校：南校舎、東中学校：特別教室棟・管理棟・体育館

社会体育施設管理事業

長年の懸案となっていた町民体育館の雨漏り対策として、屋根の改修工事および外壁防水工事を実施します。



⑤町の借金返済に 6億6,784万円（公債費）

⑥共に支えあい、健やかに暮らせるまち・地球環境に調和したまち など 6億2,346万円（衛生費）

感染症対策事業

乳幼児や高齢者に予防接種を実施します。さらに、子宮頸がんワクチン、Hibワクチン、肺炎球菌ワクチンを定期接種化として実施します。

環境衛生事業

地球温暖化の防止および環境保全意識の高揚を図るため、住宅用太陽光発電システム普及促進事業を、町単独事業として継続実施します。

⑧元気のある産業が育つまち など 3億4,384万円（その他）

筆産業振興事業

補助金を活用し、筆の原材料の需給状況について調査するなど、円滑な原材料確保に向けた取り組みを行います。

観光推進事業

町を紹介するパンフレットなどを作成するほか、補助金を活用し、熊野町観光大使の「ふでりん」などを活用した地域情報やイベント情報の発信などを行うことで町や熊野筆のPRを行い、交流人口の拡大を図ります。

⑦安全に安心して暮らせるまち 3億630万円（消防費）

災害予防および応急対策事業

消防団活動に必要な消防積載車などの更新を行い、災害時などの緊急体制を整えます。また、繰越事業として、救援物資の集配拠点として、新たに「防災備蓄倉庫建設工事」を実施します。

（見方）※各説明の番号は4ページの棒グラフ中の番号と対応しています。

①施策目標・予算額（費目）

平成25年度の主要事業

※その他：議会費、商工費、農林水産業費など

問企画財政課 ☎820-5632

■一般会計 福祉、道路、教育など町が一般行政を進めるための収入、支出を経理する会計

一般会計では、引き続き、第5次熊野町総合計画の将来像「ひと まち 育む 筆の都 熊野」の実現を図るため、社会保障給付費、生活基盤の整備、教育環境の充実、産業および商業振興、観光推進などに要する経費を予算化しており、前年度比0.9%増の74億6,409万円となりました。（※数字については、表記単位未満を四捨五入しています。）

町民1人当たりの予算
29万9,606円

〔平成25年2月28日 現在 人口 2万4,913人（外国人を除く）〕

①共に支えあい、健やかに暮らせるまち など 28億7,506万円（民生費）

次世代育成支援対策事業

子育て支援センターにおいて、マタニティヨガ、ペアレントトレーニングなどの新規事業を開始するなど、育児支援の強化を図ります。

福祉医療費公費負担事業

小・中学生の入院医療費の助成と、就学前の子ども医療費の無償化を引き続き実施し、子育て世代の負担軽減を図ります。

保育所運営事業

多様なニーズに対応するため、延長保育、病後児保育、一時保育を実施。延長保育は、一部の保育所で早朝7時から開始します。

②筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまち など 9億5,578万円（総務費）

出前講座・地域懇談会

住民が行う学習会へ職員が出向く「出前講座」や直接住民の意見、要望などをお聞きする「地域懇談会」を開催します。

定住交流促進事業

広島ブランドショップTAUの熊野筆セレクトショップを活用した情報発信や、筆の街交流館K-JINで絵てがみ体験事業を継続実施します。

生活福祉交通の本格運行

生活福祉交通「おでかけ号」は、半年間の試験運行で相当数の利用があることを確認したことから、本格運行に移行します。（詳細は6ページ）

一般会計 74億6,409万円 〔対前年度比 0.9%増〕

歳出	歳入
①民生費 38.5%	町税 30.3% 22億6,130万円
②総務費 12.8%	繰入金 7.6% 5億6,369万円
③土木費 12.5%	諸収入 3.6% 2億6,508万円
④教育費 10.2%	その他 2.3% 1億7,794万円
⑤公債費 8.9%	地方交付税 26.0% 19億4,006万円
⑥衛生費 8.4%	国庫支出金 13.4% 10億1,173万円
⑦消防費 4.1%	県支出金 6.9% 5億1,359万円
⑧その他 4.6%	町債 6.0% 4億4,760万円
	その他 3.9% 2億9,310万円

自主財源（町が自主的に収入する財源） 43.8%
依存財源（県や国から交付される財源） 56.2%

■特別会計および企業会計

特定の事業を行うため、一般会計とは別に、その収入、支出を経理する会計

（単位：万円）

会計名	平成25年度	平成24年度	対前年度比
国民健康保険事業特別会計	33億4,216	33億2,200	0.6%
公共下水道事業特別会計	8億8,332	9億3,547	▲5.6%
後期高齢者医療特別会計	5億1,811	4億6,468	11.5%
介護保険特別会計	20億2,554	19億3,117	4.9%
土地取得特別会計	22億1,120	—	皆増

下水道事業会計	収益的支出	4億6,768	4億7,174	▲0.9%
	資本的支出	1億1,385	1億3,035	▲12.7%